

★★★★★ 総 評 ★★★★★

審査委員長 渡辺和枝

2017年8月22日～23日、風光明媚な港町 鞆の浦でガールズ・サミットが開催された。テーマの設定から関わり、ユースにとって“今”が大切で、“今”しなければならないことを考えてほしいという気持ちを込め、「なりたい自分になるために～今できること～」と設定した。

1日目の2分間自己紹介は、英語でのスピーチや制作した番組の音声を流す、絵を見せるなど、それぞれに工夫を凝らしたもので、自己紹介にふさわしい個性豊かなものだった。

提出論文には、自分の将来像を明確に描き、そのために今できることが具体的に記されていることが理想だが、まだ決められないというものもあった。ただ、文面からは、なりたい自分が読み取れ、今回の参加が今すべきことを考えるきっかけになっていることを感じた。

続くグループ討論では、初対面のメンバー同士が一瞬のうちに盛り上がるグループもあれば、担当の委員の方の誘導が必要なグループも見受けられたが、後半は、どのグループも十分な話し合いができていたし、それが発表にも表れていた。文部科学省は、学力の3要素として「知識・理解」「思考力・判断力・表現力」「意欲・態度」を挙げているが、ユースはこの何れのものも十分に持ち合わせており、十二分に発揮した。

キャリアと共にフリートークでは、豊かな経験を持ったキャリアの方たちの話しは、ユースにとって興味深く、一言も聞き逃さないようにと、身を乗り出して聞き入っていたのが印象的だった。夢と現実の間にはギャップもあっただろう。障害を乗り越えるための行動力の大切さを理解してもらえたのではないだろうか。

2日目の発表は、一人ひとりの変化を見たかったこともあり個人の発表とした。それぞれの発表は決意表明であり、その力強さと発信力の強さに感動を覚えた。1日目の活動で感じてほしいと思っていたことが、そのままユースの発表にすべて表現され、ガールズ・サミットの目的は達成されたと確信した。